



共同災害看護学専攻 博士課程  
(DNGL:災害看護グローバルリーダー養成プログラム)  
Disaster Nursing Global Leader Degree Program

# 2026年度 シラバス

---



兵庫県立大学  
UNIVERSITY OF HYOGO



千葉大学  
CHIBA UNIVERSITY



日本赤十字看護大学

目次 Content		
	教育課程等の概要(共同学科等)「2014年度～2018年度入学生適応」	1
	教育課程等の概要(共同学科等)「2019年度以降入学生適応」	2
	2026年度 共同災害看護学専攻 開講科目一覧	3
2026年度開講科目		
災害看護学の専門科目群		
1211	インターンシップⅡ	4
インデペンデント学修科目群		
1306-1310	インデペンデントスタディⅠ	6
災害看護学研究支援科目群		
3404	博士論文	8
2026年度不開講科目		
災害看護学の基盤を支える科目群		
1101	看護研究	9
1102	理論看護学	12
1103	危機管理論	13
1104	環境防災学Ⅰ	14
1105	環境防災学Ⅱ	15
1106	グローバルヘルス	16
1107	災害法制度と政策論	17
1108	専門職連携実践論	18
1109	災害時専門職連携演習(災害IP演習)	20
1110	災害医療学	22
1111	災害心理学	24
1112	災害と文化	25
1113	災害社会福祉学	26
1114	Professional writing	27
1115	Proposal writing (Research proposal writing skill)	28
1116	Program writing (Program proposal writing skill)	30
災害看護学の専門科目群		
1201	災害看護学総論	32
1202	災害看護活動論Ⅰ(急性期)	34
1203	災害看護活動論Ⅱ(亜急性期)	36
1204	災害看護活動論Ⅲ(復旧・復興)	38
1205	災害看護活動論Ⅳ(備え)	40
2206	災害看護グローバルコーディネーション論	41
2207	災害看護リーダーシップ・管理論	43
2208	災害看護倫理	44
3209	災害看護理論構築	46
1210	インターンシップⅠ	48
インデペンデント学修科目群		
1301	災害看護ゼミナールA	50
1302	災害看護ゼミナールB	51
1303	災害看護ゼミナールC	53
1304	災害看護ゼミナールD	54
1305	災害看護ゼミナールE	55
災害看護学研究支援科目群		
1401	災害看護研究ゼミナール	56
2402	実践課題研究	57
3403	災害看護研究デベロップメント	58
2014-2018年度入学生適用科目		
301	理論看護学Ⅱ	60

教育課程等の概要（共同学科等）

（共同災害看護学専攻（博士課程））

科目区分	授業科目の名称	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
看護学の学問基盤に関する科目群	101 看護研究方法	1前	高知県立大学	2			○			オムニバス/メディアを含む
	102 理論看護学Ⅰ	1前	千葉大学	2			○			オムニバス/メディアを含む
	301 理論看護学Ⅱ	3前	高知県立大学	2			○			オムニバス/メディアを含む
	110 看護倫理	1後	兵庫県立大学		2		○			メディアを含む
	111 看護情報統計学	1後	東京医科歯科大学		2		○			オムニバス/メディアを含む
	201 保健学的・疫学的研究法	2前	千葉大学		2		○			メディアを含む
	202 看護研究方法論Ⅰ(国際比較研究)	2前	東京医科歯科大学		1		○			オムニバス/メディアを含む
	112 看護研究方法論Ⅱ(エスノグラフィー)	1後	日本赤十字看護大学		1		○			メディアを含む
	203 看護研究方法論Ⅲ(ケーススタディ・アクションリサーチ)	2前	千葉大学		1		○			オムニバス/メディアを含む
	113 看護研究方法論Ⅳ(グランデッドセオリー)	1後	東京医科歯科大学		1		○			オムニバス/メディアを含む
	114 看護研究方法論Ⅴ(現象学的研究方法)	1後	高知県立大学		1		○			オムニバス/メディアを含む
	204 看護研究方法論Ⅵ(介入研究・尺度開発含)	2前	兵庫県立大学		1		○			メディアを含む
	小計(12科目)	—		6	12	0				—
災害必看護学グローバル的バリエーションに	205 危機管理論*	2前	兵庫県立大学		2		○			オムニバス/メディアを含む
	115 環境防災学*	1後	千葉大学/高知県立大学		2		○			オムニバス/メディアを含む
	211 グローバルヘルスと政策*	2後	東京医科歯科大学		2		○			オムニバス/メディアを含む
	103 専門職連携実践論*	1前	千葉大学		2		○			メディアを含む
	104 災害医療学*	1前	日本赤十字看護大学		2		○			オムニバス/メディアを含む
	105 災害情報学*	1前	兵庫県立大学		2		○			メディアを含む
	106 災害心理学*	1前	兵庫県立大学		2		○			メディアを含む
	107 災害と文化*	1前	千葉大学		1		○			オムニバス/メディアを含む
	212 災害社会学*	2後	高知県立大学		1		○			メディアを含む
	206 災害福祉学*	2前	高知県立大学		1		○			メディアを含む
207 Professional writing*	2前	高知県立大学		1			○		オムニバス/メディアを含む	
208 Proposal writing (Research proposal writing skill)*	2前	東京医科歯科大学		1			○		オムニバス/メディアを含む	
305 Program writing (Program proposal writing skill)*	3後	兵庫県立大学		1			○		メディアを含む	
	小計(13科目)	—		0	20	0				—
災害看護学に関する科目群	108 災害看護活動論Ⅰ	1前	東京医科歯科大学	2			○			オムニバス/メディアを含む
	109 災害看護活動論Ⅱ	1前	日本赤十字看護大学	2			○			オムニバス/メディアを含む
	116 災害看護活動論Ⅲ	1後	千葉大学	2			○			オムニバス/メディアを含む
	302 災害看護学特論	3前	兵庫県立大学	2			○			メディアを含む
	303 災害看護グローバルコーディネーション論*	3前	日本赤十字看護大学		1		○			オムニバス/メディアを含む
	306 災害国際活動論*	3後	日本赤十字看護大学		1		○			オムニバス/メディアを含む
	307 災害看護管理・指揮論*	3後	高知県立大学		1		○			オムニバス/メディアを含む
	308 災害看護倫理	3後	兵庫県立大学	1				○		オムニバス/メディアを含む
	309 災害看護理論構築	3後	高知県立大学/兵庫県立大学	2			○			オムニバス/メディアを含む
	小計(9科目)	—		11	3	0				—
災害看護学演習	117 災害看護活動論演習Ⅰ	1後	東京医科歯科大学	2				○		オムニバス/メディア含む/集中
	118 災害看護活動論演習Ⅱ	1後	兵庫県立大学	2				○		メディアを含む/集中
	119 災害時専門職連携演習(災害IP演習)	1後	千葉大学		2			○		オムニバス/メディア含む/集中
	209 災害看護グローバルリーダー演習	2前	日本赤十字看護大学		2			○		オムニバス/メディアを含む
	120 インディペンデントスタディ(演習)A	1後	高知県立大学		1			○		
	121 インディペンデントスタディ(演習)B	1後	兵庫県立大学		1			○		
	122 インディペンデントスタディ(演習)C	1後	東京医科歯科大学		1			○		
	123 インディペンデントスタディ(演習)D	1後	千葉大学		1			○		
	124 インディペンデントスタディ(演習)E	1後	日本赤十字看護大学		1			○		
	小計(9科目)	—		4	9	0				—
災害看護学実習	210 災害看護学実習Ⅰ	2前	兵庫県立大学	2					○	集中
	401 災害看護学実習Ⅱ	4前	日本赤十字看護大学	2					○	集中
	402 インディペンデントスタディ(実習)A	4前	高知県立大学		1				○	集中
	403 インディペンデントスタディ(実習)B	4前	兵庫県立大学		1				○	集中
	404 インディペンデントスタディ(実習)C	4前	東京医科歯科大学		1				○	集中
	405 インディペンデントスタディ(実習)D	4前	千葉大学		1				○	集中
	406 インディペンデントスタディ(実習)E	4前	日本赤十字看護大学		1				○	集中
	小計(7科目)	—		4	5	0				—
研究支援する科目群	213 実践課題レポート	2後	5大学(共同指導)	5				○		各大学1単位/メディアを含む
	304 災害看護研究デベロップメント	3前	5大学(共同指導)	5				○		各大学1単位/メディアを含む
	501 博士論文	5前	5大学(共同指導)	5				○		各大学1単位/メディアを含む
	小計(3科目)	—		15	0	0				—
合計(53科目)				—						—
学位又は称号		博士(看護学)		学位又は学科の分野			保健衛生学関係			
卒業要件及び履修方法				開設大学	開講単位数(必修)	授業期間等				
<p>標準修業年限の5年以上在籍し、修了要件50単位以上の単位を修得した者が必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び論文の内容や専門分野に関する口述ないし筆記試験に合格することを要件とする。</p> <p>修了要件50単位のうち、40単位は必修であり、10単位は選択科目または選択必修科目から修得すること。選択必修科目は「災害看護グローバルリーダーに必要な学際的な科目群」から6単位、「災害看護学に関する科目群」から2単位を修得すること。</p> <p>また、それぞれの構成大学において10単位以上を修得すること。</p> <p>*は選択必修科目</p>				高知県立大学	16(8)	1学年の学期区分		2期		
				兵庫県立大学	23(11)	1学期の授業期間 16週(試験期間含)				
				東京医科歯科大学	16(7)	1時限の授業時間		90分		
				千葉大学	18(7)					
				日本赤十字看護大学	16(7)					

## 教育課程等の概要(共同学科等)

(共同災害看護学専攻(博士課程))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実習		隔年
災害看護学の基盤を支える科目群	1101	看護研究	1前	東京科学大学		2		○			
	1102	理論看護学	1集	千葉大学		1		○			看護学専攻との共同開講 8～9月に集中 対面開講
	1103	危機管理論	1・2・3前	兵庫県立大学		1		○		偶数	一部を減災復興政策研究科・博士前期課程と合同開講
	1104	環境防災学Ⅰ	1・2・3後	高知県立大学		1		○		偶数	
	1105	環境防災学Ⅱ	1・2・3後	千葉大学		1		○		奇数	
	1106	グローバルヘルス	1・2・3後	東京科学大学		1		○		奇数	
	1107	災害法制度と政策論	1・2・3後	東京科学大学		1		○		偶数	
	1108	専門職連携実践論	1・2・3前	千葉大学		1		○			8～9月集中 看護学専攻との共同開講 ※同時双方向型メディア授業
	1109	災害時専門職連携演習(災害IP演習)	1・2・3集	千葉大学		1			○	奇数	2～3月集中 ※同時双方向型メディア授業
	1110	災害医療学	1・2・3前	日本赤十字看護大学		2		○		偶数	
	1111	災害心理学	1・2・3前	兵庫県立大学		1		○		偶数	
	1112	災害と文化	1・2・3前	千葉大学		1		○		奇数	
	1113	災害社会福祉学	1・2・3後	高知県立大学		1		○		偶数	前期集中
	1114	Professional writing	1・2・3前	高知県立大学		1			○	奇数	
	1115	Proposal writing (Research proposal writing skill)	1・2・3前	東京科学大学		1			○	偶数	保健衛生学研究科「国際看護研究方法論」と共同開講
	1116	Program writing (Program proposal writing skill)	1・2・3後	兵庫県立大学		1			○	偶数	
	小計(16科目)	-		0	18	0		-			
災害看護学の専門科目群	1201	災害看護学総論	1前	兵庫県立大学		2		○			
	1202	災害看護活動論Ⅰ(急性期)	1前	東京科学大学		2		○			
	1203	災害看護活動論Ⅱ(亜急性期)	1前	日本赤十字看護大学		2		○			
	1204	災害看護活動論Ⅲ(復旧・復興)	1後	千葉大学		2		○			
	1205	災害看護活動論Ⅳ(備え)	1後	高知県立大学		2		○			
	2206	災害看護グローバルコーディネーション論	2集	日本赤十字看護大学		2		○			
	2207	災害看護リーダーシップ・管理論	2前	高知県立大学		2		○			
	2208	災害看護倫理	2前	兵庫県立大学		1		○			
	3209	災害看護理論構築	3前	兵庫県立大学		2		○			
	1210	インターンシップⅠ*	1・2・3・4・5通	5大学(共同指導)		5				○	
	1211	インターンシップⅡ*	1・2・3・4・5通	5大学(共同指導)		5				○	
	小計(11科目)	-		0	27	0		-			
インデペンデント学修科目群	1301	災害看護ゼミナールA	1・2・3	高知県立大学		2		○			
	1302	災害看護ゼミナールB	1・2・3	兵庫県立大学		2		○			
	1303	災害看護ゼミナールC	1・2・3	東京科学大学		2		○			
	1304	災害看護ゼミナールD	1・2・3	千葉大学		2		○			
	1305	災害看護ゼミナールE	1・2・3	日本赤十字看護大学		2		○			
	1306	インデペンデントスタディⅠ	1・2・3・4・5	高知県立大学 兵庫県立大学 東京科学大学 千葉大学 日本赤十字看護大学		1		○			
	1307	インデペンデントスタディⅡ	1・2・3・4・5			1		○			
	1308	インデペンデントスタディⅢ	1・2・3・4・5			1		○			
	1309	インデペンデントスタディⅣ	1・2・3・4・5			1		○			
	1310	インデペンデントスタディⅤ	1・2・3・4・5			1		○			
	小計(10科目)	-		0	15	0		-			
研究災害看護学群	1401	災害看護研究ゼミナール	1後	5大学(共同指導)		5		○			
	2402	実践課題研究	2通	5大学(共同指導)	5				○		
	3403	災害看護研究デベロップメント	3前	5大学(共同指導)	5				○		
	3404	博士論文	3～5	5大学(共同指導)	5				○		
		小計(4科目)	-		15	5	0		-		
合計(41科目)		-		15	65	0		-			
学位又は称号	博士(看護学)			学位又は学科の分野			保健衛生学関係				
卒業要件及び履修方法				開設大学	開講単位数(必修)	授業期間等					
標準修業年限の5年以上在籍し、修了要件50単位以上の単位を修得した者で必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び論文の内容や専門分野に関する口述ないし筆記試験に合格することを要件とする。  修了要件50単位のうち、「災害看護学の基盤となる科目群」から6単位以上、「災害看護学の専門科目群」から10単位以上を修得し、かつ「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」のいずれか1科目以上を履修すること。 また、それぞれの構成大学において10単位以上を修得すること。 *は選択必修科目				高知県立大学	15(3)	1学年の学期区分 2期					
				兵庫県立大学	16(3)	1学期の授業期間 16週(試験期間含)					
				東京医科歯科大学	15(3)	1時限の授業時間 90分					
				千葉大学	15(3)	※インデペンデントスタディの単位は含まない					
				日本赤十字看護大学	14(3)						

2026年度 共同災害看護学専攻 開講科目一覧

2026.4.1

コード	科目名	配当年次	担当大学	単位数	時期	必修	隔年開講	備考
1101	看護研究	1	東京科学大学	2	前			
1102	理論看護学	1	千葉大学	1	前期集中			
301	理論看護学Ⅱ	3	高知県立大学	2	前	必修		
1103	危機管理論	1・2・3	兵庫県立大学	1	前		偶数年	
1104	環境防災学Ⅰ	1・2・3	高知県立大学	1	後		偶数年	
1105	環境防災学Ⅱ	1・2・3	千葉大学	1	後		奇数年	
1106	グローバルヘルス	1・2・3	東京科学大学	1	後		奇数年	
1107	災害法制度と政策論	1・2・3	東京科学大学	1	後		偶数年	
1108	専門職連携実践論	1・2・3	千葉大学	1	前期集中			8～9月集中 看護学専攻と共同 (※同時双方向メディア)
1109	災害時専門職連携演習 (災害IP演習)	1・2・3	千葉大学	1	後期集中		奇数年	2～3月集中 (※同時双方向メディア)
1110	災害医療学	1・2・3	日本赤十字看護大学	2	前		偶数年	
1111	災害心理学	1・2・3	兵庫県立大学	1	前		偶数年	
1112	災害と文化	1・2・3	千葉大学	1	前		奇数年	一部集中(※TV・対面授業)
1113	災害社会福祉学	1・2・3	高知県立大学	1	後		偶数年	
1114	Professional writing	1・2・3	高知県立大学	1	前		奇数年	
1115	Proposal writing	1・2・3	東京科学大学	1	前		偶数年	
1116	Program writing	1・2・3	兵庫県立大学	1	後		偶数年	
1201	災害看護学総論	1	兵庫県立大学	2	前			
1202	災害看護活動論Ⅰ(急性期)	1	東京科学大学	2	前			
1203	災害看護活動論Ⅱ(亜急性期)	1	日本赤十字看護大学	2	前			
1204	災害看護活動論Ⅲ(復旧・復興)	1	千葉大学	2	後			
1205	災害看護活動論Ⅳ(備え)	1	高知県立大学	2	後			
2206	災害看護グローバルコーディネーション論	2	日本赤十字看護大学	2	集中			
2207	災害看護リーダーシップ・管理論	2	高知県立大学	2	前			
2208	災害看護倫理	2	兵庫県立大学	1	前			旧カリ学生は必修
3209	災害看護理論構築	3	兵庫県立大学	2	前			
1210	インターンシップⅠ	1・2・3・4・5	5大学(共同)	5	通	いずれか1科目以上選択必修		履修対象者なし
1211	インターンシップⅡ	1・2・3・4・5	5大学(共同)	5	通			
1301	災害看護ゼミナールA	1・2・3	高知県立大学	2				日時は受講者と相談可
1302	災害看護ゼミナールB	1・2・3	兵庫県立大学	2				
1303	災害看護ゼミナールC	1・2・3	東京科学大学	2				
1304	災害看護ゼミナールD	1・2・3	千葉大学	2				
1305	災害看護ゼミナールE	1・2・3	日本赤十字看護大学	2				
1306	インデペンデントスタディⅠ	1・2・3・4・5	高知県立大学 兵庫県立大学 東京科学大学 千葉大学 日本赤十字看護大学	1				
1307	インデペンデントスタディⅡ	1・2・3・4・5		1				
1308	インデペンデントスタディⅢ	1・2・3・4・5		1				
1309	インデペンデントスタディⅣ	1・2・3・4・5		1				
1310	インデペンデントスタディⅤ	1・2・3・4・5		1				
1401	災害看護研究ゼミナール	1	5大学(共同)	5	後			
2402	実践課題研究	2	5大学(共同)	5	通	必修		
3403	災害看護研究デベロップメント	3	5大学(共同)	5	前	必修		
3404	博士論文	3・4・5	5大学(共同)	5		必修		

開講科目数7

開講終了科目(配当年次を超えた科目)

授業科目名	インターンシップⅡ InternshipⅡ	必修の区分	選択
授業コード	1211	開講年次	1・2・3・4・5
単位数	各大学1単位（全5単位）	期別	通年
授業種別	実習	授業方法	実習
講師名	木下真里 増野園恵・林知里 佐々木吉子・今津陽子 石橋みゆき・黒田久美子・増島麻里子 野口眞貴子・織方愛	所属	高知県立大学 兵庫県立大学 東京科学大学 千葉大学 日本赤十字看護大学
オフィスアワー・場所	アポイントメント（随時）	連絡先	上記教員のメールアドレス
講義目的及び到達目標	<p><b>【目的】</b> これまでの学びを活用し、知識、技術、態度の統合、グローバルリーダーの視点から具体的実践スキルとともに研究的な視点を養う。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル社会における災害看護の役割が理解できる</li> <li>・看護の立場から減災のための課題解決に向けた議論をすることができる</li> <li>・グローバルリーダーの必要性と役割について、自分の考えを持てる</li> <li>・実践におけるグローバルな課題の分析・検討ができる</li> <li>・取り組んだ課題に対する具体的な解決案・施策を説明できる</li> </ul>		
講義内容・授業計画	<p><b>【履修時の進め方】</b> 災害看護に関連する国際的かつ学際的な活動を行う組織、機関を選定し、文化や規範を尊重しつつ、現場のリーダーのもとでその実際を学び、スーパービジョンを受けながら主体的に実習を行う。</p> <p>（履修の手順）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生は、取り組みたい課題について、アドバイザー教員と相談し、その課題達成に適するインターンシップⅡ実施機関および指導教員（原則、本籍大学の専任教員）を決める。</li> <li>・インターンシップⅡ実施機関と連絡・交渉を行い、受け入れ可能性と必要な手続きを確認する。</li> <li>・インターンシップⅡ計画書（学習目標・学習内容・学習スケジュール等を含む）を作成し、その内容について指導教員および本籍大学以外の教員、受け入れ先の担当者から助言・指導を受ける。</li> <li>・インターンシップⅡ実施中には、受け入れ先の担当者および指導教員から指導を受ける。</li> <li>・5 大学共同活動報告・発表会において本籍大学以外の教員からの指導・助言を受ける。</li> </ul>		
テキスト	特に指定しない。		
参考文献	適宜紹介する		
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最終レポート：インターンシップⅡ開始までのプロセス・計画書・活動記録及び学習成果をまとめた活動記録</li> <li>・5 大学合同で開催する活動報告・発表会</li> </ul>		
履修上の注意・履修要件	受け入れ先によっては、調整に時間を要することがあるので、早めに内容を検討し、選定すること。		

備考	<ul style="list-style-type: none"><li>・インターンシップⅡ計画書を作成し、指導教員の確認・了解を得た後、<b>5</b> 大学共同教育課程運営委員会に提出する。</li><li>・インターンシップⅡ終了後は、速やかに報告書を作成し、担当教員、受け入れ先が確認したものを教育課程運営委員会に提出する。</li><li>・最終レポートは、<b>A4</b> サイズで <b>5</b> ページを上限としてまとめてください。</li></ul>
----	--

授業科目名	インデペンデントスタディ I・II・III・IV・V Independent Study I/II/III/IV/V	必修の区分	選択
授業コード	1306・1307・1308・1309・1310	開講年次	1・2・3・4・5
単位数	1	期別	前期もしくは後期
授業種別	演習	授業方法	演習
講師名	共同災害看護学専攻 専任教員 他	所属	構成5大学
オフィスアワー・場所	事前アポイント	連絡先	Email
講義目的及び到達目標	<p><b>【目的】</b> 学生が関心をもつ災害看護領域において、実践あるいは研究を発展させていく上で必要となる知識・スキルの修得・強化をはかり、災害看護グローバルリーダーとしての能力を養う。</p> <p><b>【到達目標】</b> 学生の持つ課題によって、次の1つまたは複数が個別の到達目標となる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 災害看護に関連する特定の関心分野についての知識を広げる</li> <li>2. 災害看護領域における実践的課題を解決するために必要となる知識、スキルを開発または向上させる</li> </ol> <p>災害看護領域における研究を発展させていく上で必要となる知識、スキルを開発または向上させる</p>		
講義内容・授業計画	<p><b>【科目の概要】</b> この科目は、学生個々の関心と課題に基づき、学生自らが担当教員と相談の上で具体的な学習目標・学習内容・学習計画を立てて主体的に学習するものである。1科目は1単位の学習とし、1学期（前期又は後期）で終了する。1学生につき、5年間で最大5科目（5単位）までの履修を可能とする。</p> <p><b>【履修の手順】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. インデペンデントスタディは、教育課程運営委員会で担当教員および科目の具体的内容についての確認を受けた後、履修登録を行い履修する。</li> <li>2. 学生は、インデペンデントスタディとして取り組みたい課題について、アドバイザー教員と相談し、その課題の指導に適する担当教員を決める（担当教員は原則、共同災害看護学専攻の専任教員とする）。</li> <li>3. 学生は、インデペンデントスタディ学習計画書（様式）（学習目標・学習内容・学習スケジュール等を含む）を作成し、その内容について担当教員の助言・指導を受ける。（1科目分の学習計画書は1単位に相当する内容であること）</li> <li>4. 学生と担当教員によって十分検討されたインデペンデント学習計画書は、アドバイザー教員が確認した後、教育課程運営委員会で報告、確認される。</li> </ol> <p><b>【計画上の留意】</b> インデペンデントスタディは、共同災害看護学専攻で提供されている科目（必修・選択）の代替とはならない。提供科目でカバーされる内容と同じものをインデペンデントスタディとすることはできない。</p>		
テキスト	特定なし		

参考文献	特定なし
成績評価	学習目標の到達度をもって成績を評価する。具体的な評価方法は、担当教員が科目開始前に定める。
履修上の注意・履修要件	<p>インデペンデント学習計画書が教育課程運営委員会で確認された後に履修登録・履修が可能となる。</p> <p>5年間で最大5科目(5単位)まで履修が可能。最初の履修科目は「インデペンデントスタディⅠ」となり、以降、複数のインデペンデントスタディを履修する場合は、「インデペンデントディⅡ」→「インデペンデントスタディⅢ」と順に科目を計画する。</p>
備考	<p>インデペンデントスタディは余裕をもって計画してください。</p> <p>前期科目として登録する場合は前年度3月までに、後期科目として登録する場合は9月までに、教育課程運営委員会で確認を受けてください。</p>

授業科目名	博士論文 Dissertation Research	必修の区分	必修
授業コード	3404	開講年次	3～5年次
単位数	各大学1単位（全5単位）	期別	—
授業種別	演習	授業方法	遠隔授業
講師名	木下真里 増野園恵・林知里 佐々木吉子・今津陽子 石橋みゆき・黒田久美子・増島麻里子 野口眞貴子	所属	高知県立大学 兵庫県立大学 東京科学大学 千葉大学 日本赤十字看護大学
オフィスワーカー・場所	随時アポイントメント	連絡先	各教員のメールアドレス
講義目的及び到達目標	<p>【目的】 博士論文研究計画書および研究倫理審査結果に基づいて調査研究を行い、博士論文作成を通して、独り立ちして学術的な研究を行う能力を培う。特に、この科目では、データ収集とデータ分析のプロセス、およびそのプロセスにおいて必要となる倫理的な配慮について、研究指導教員の助言・指導を受けながら具体的に学修する。</p> <p>【「博士論文」の評価の視点】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 研究目的を達成するための方法論が明確に示され、データ収集およびデータ分析の方法などが具体的に検討されている。</li> <li>② データ収集およびデータ分析のプロセスにおける倫理的配慮が十分に検討されている。</li> <li>③ データ収集およびデータ分析の過程において、信頼性や妥当性、あるいは信用性・真実性（<b>trustworthiness</b>）が確保されている。</li> <li>④ 研究結果が根拠に基づいて記述されている（記述されることが見込まれている）。</li> <li>⑤ 研究指導体制を構成している教員の能力を活用し、綿密にデータ収集とデータ分析のプロセスを踏むことができている。</li> </ol>		
講義内容・授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>Qualifying Examination</b> に合格した学生は、本科目の履修にあたって、以降の研究指導体制および博士論文で取り組む研究課題について、教育課程運営委員会に申請をし、承認を得る。承認を得た本専攻の専任教員である研究指導教員が本科目の担当教員となる。</li> <li>◆ <b>Qualifying Examination</b> で承認を得た研究計画に基づき、研究を主体的に進める。</li> <li>◆ 研究の実施ならびに論文作成過程において、学生は、<b>Zoom</b> 等を活用し、副指導教員からも十分な指導を受ける。</li> </ul>		
テキスト	なし		
参考文献	必要に応じて提示する		
成績評価	博士論文指導体制のうち、専任教員である主研究指導教員1名と副研究指導教員4名が科目担当として評価の視点に基づいて評価する。		
履修上の注意・履修要件	本科目の履修は、 <b>Qualifying Examination</b> を終えていることを基本とする。学生は、 <b>Qualifying Examination</b> に合格した後の期より、本科目の履修を登録する。		
備考	「博士論文中間発表会」は、本科目の履修中もしくは履修後に開催する。開催の時期や助言を求めるために招く研究者・専門職者は、研究指導教員と話し合い決定する。		